

# 緊急 H28大豆栽培農事メモ第4号

今年は8月が晴れて気温が高い日が続き、生育が早まっている圃場が多くみられ、すでに落葉期を迎えた圃場もあります。圃場毎に大豆の収穫時期を見極め、適期を迎えた圃場から順に収穫して下さい。

## 1 コンバイン刈取り適期

莢や子実の水分が18~20%以下  
茎の水分が60%以下

※刈取り時の子実の水分が20%以上では損傷粒、茎の水分が60%以上では汚損粒が増えるので、大豆の茎・莢・子実の水分を的確に把握し刈取り作業を行なってください。

### 【圃場全体の簡易判断基準】

株：葉が完全に落ちて茎と莢だけになっている。

莢：莢が黄化してから約2週間経過し、茎を揺さぶるとカラカラと音を立てる。

豆：粒が球形になり、硬くなって、爪を立てても爪跡がわずかにつく。

茎：完全に茶色く枯れ上がり、手でポキッと折れる。



葉が残る緑株・茎が緑色は抜く

### ☆里のほほみの注意点☆

里のほほえみは、莢が褐色となり子実水分が20%以下となっても、茎は黄色味が残り水分が高いです。刈取り時にエンレイよりも脱穀部がつまりやすく、汚損粒が発生しやすいので、スピードを落として刈りましょう。

## 2 葉が付いている株、茎が緑色の株や雑草の除去

汚損粒発生防止のため、刈取り作業前に、圃場内の緑色の茎やアメリカセンダングサ、タデ等の雑草を除去しましょう。

## 3 刈取り作業の注意点

- ① 大豆刈取り時の土による汚損粒やゴミの混入は、豆腐などの製品に雑菌が繁殖する原因となるため、実需者から最も嫌われるので注意しましょう。
- ② 土や雑草を機械に入れないように大豆が乾燥した状態で刈る必要があるため、朝露の残る早朝の作業は避け、午前10時以降に刈るようにしましょう。
- ③ 刈取り部に土が入らないように刈高さを注意し、万一土が入った場合は直ちに停止して、刈取り部等の清掃を行ないましょう。
- ④ 刈遅れは、しわ粒の発生や品質低下の要因となるため、適期に刈取りを行ないましょう。

## 【参 考】

### 1 成熟期の目安

- ① 成熟期の目安は、黄葉期から概ね15日後である。地力の差や湿害の程度により、圃場間及び圃場内の個体間で成熟の早晩の差が大きくなるので、黄葉期や落葉状況を把握して、成熟期を予想し適期収穫に努める。
- ② 特に黄葉期頃は、圃場間の成熟スピードを把握しやすいので、この時期に圃場をよく観察し、収穫作業計画で圃場の刈取り順を決める参考にする。

#### ☆黄葉期から収穫期までの日数の目安

##### ①黄葉期

圃場内の着生葉の80~90%が黄化した状態



##### ②③落葉期

②圃場内の株の3割が葉柄も含め完全に落葉、③同8割が落葉



##### ④成熟期

圃場内の大豆の莢が80~90%褐変し、莢を振って音のする状態

##### ⑤収穫開始

子実水分22%以下、  
茎水分55%以下

注)⑥収穫限界は腐敗粒等による品質低下の限界。しわ粒の増加は考慮していない

##### ⑥収穫限界

これ以降は品質が大幅に低下



例：落葉が8割となった日が9月29日→収穫は10月4~13日となる。

### 2 しわ粒の発生軽減

しわ粒には「ちりめんじわ」と「亀甲じわ」の2種類があるが、「亀甲じわ」は成熟期後、収穫が遅くなるほど増加する。亀甲じわ粒の発生を軽減するには、成熟期が早い圃場・団地から適期を逃さず収穫を開始し、作付け圃場全体の収穫期の後ずれを回避することが重要である。また、ちりめんじわは生育後半の栄養状態や老化が早い場合に発生する。